

岡山県感染症週報 2020年 第5週 (1月27日～2月2日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』、『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です

◆2020年 第5週 (1/27～2/2) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第3週	2類感染症	結核	1名 (60代 男)
	5類感染症	梅毒	1名 (高校生 女)
第4週	2類感染症	結核	2名 (50代 男 1名、80代 女 1名)
第5週	2類感染症	結核	3名 (20代 男 1名、40代 女 1名、70代 女 1名)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (60代 女)
	5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1名 (70代 女)
		百日咳	4名 (幼児 女 1名、小学生 女 3名)

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

○インフルエンザは、県全体で 1,416 名 (定点あたり 22.64→16.86 人) の報告があり、前週から減少しました。

○感染性胃腸炎は、県全体で 444 名 (定点あたり 9.11 → 8.22 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第6週 速報】

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 41 施設でありました (2月3日～6日)。

1. **梅毒**は、2020年第5週までで11名の報告がありました。なお、2019年1年間の累計報告数は190名となりました。1999年の感染症発生動向調査開始以降最も多くなっています。県内の発生状況など詳しくは[コラム](#)をご覧ください。
2. **風しん**は、2020年第5週までで1名の報告がありました。風しんの無料の抗体検査について[コラム](#)をご覧ください。
3. **インフルエンザ**は、県全体で1,416名 (定点あたり 22.64 → 16.86 人) の報告があり、前週から減少しました。岡山県は、『**インフルエンザ注意報**』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市 (25.13 人)、真庭地域 (21.33 人)、備北地域 (19.33 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など、詳しくは「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2019/20年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!](#)』をご覧ください。
4. **感染性胃腸炎**は、県全体で444名 (定点あたり 9.11 → 8.22 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。岡山県は『**食中毒(ノロウイルス)注意報**』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。県内の発生状況など、詳しくは「感染性胃腸炎週報」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2019/20年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

【新型コロナウイルスによる感染症について】

中華人民共和国湖北省武漢市等において、新型コロナウイルスに関連した肺炎患者が報告され、日本国内においても患者の発生が確認されています。

本疾患については、風邪やインフルエンザと同様に、[咳エチケット](#)や手洗い(アルコール消毒も有効)など、通常の感染症予防対策を行うことが重要です。

発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状のある方で

- ① 2週間以内に武漢市を含む湖北省への渡航歴または居住歴がある。
- ② 2週間以内に武漢市を含む湖北省への渡航歴または居住歴がある方との濃厚接触歴がある。

上記に該当する方は、医療機関を受診する前に、[帰国者・接触者相談センター](#)へ連絡してください。

⇒ [新型コロナウイルスによる感染症に関するお願い<リーフレット>](#) (岡山県健康推進課)

また、岡山県では、新型コロナウイルスによる感染症について不安がある方へ相談窓口を設置しています。

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口

電話:086-226-7877 FAX:086-225-7283
(受付時間) 平日:9時～21時、土日祝日:9時～17時

☆中国を含む世界各国における発生状況、日本国内の発生事例や感染予防のための注意点等、詳しくは、こちら ⇒ [新型コロナウイルス感染症について \(厚生労働省\)](#)

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★★	RSウイルス感染症	▲	★
咽頭結膜熱	▲	★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▲	★★
感染性胃腸炎	▲	★★★	水痘	▲	★
手足口病	▲	★	伝染性紅斑	▲	★★★
突発性発疹	▲	★	ヘルパンギーナ	▲	★
流行性耳下腺炎	▲	★	急性出血性結膜炎	▶	
流行性角結膜炎	▲	★	細菌性髄膜炎	▶	★
無菌性髄膜炎	▶		マイコプラズマ肺炎	▶	
クラミジア肺炎	▶		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▶	

【記号の説明】 前週からの推移： ▲：大幅な増加 ▲：増加 ▶：ほぼ増減なし ▼：減少 ▼：大幅な減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★★：多い ★★★★★★：非常に多い

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。
 県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます \(岡山県 健康推進課\)](#)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました(2019年4月から2022年3月31日まで)。

今年度は**40～47歳**の方を対象に、市町村から風しんクーポン券が送付されており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。



© 岡山県「ももっち」

岡山県の2019年4月～11月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、15.4%となっています!

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(2020年\)\(国立感染症研究所\)](#)



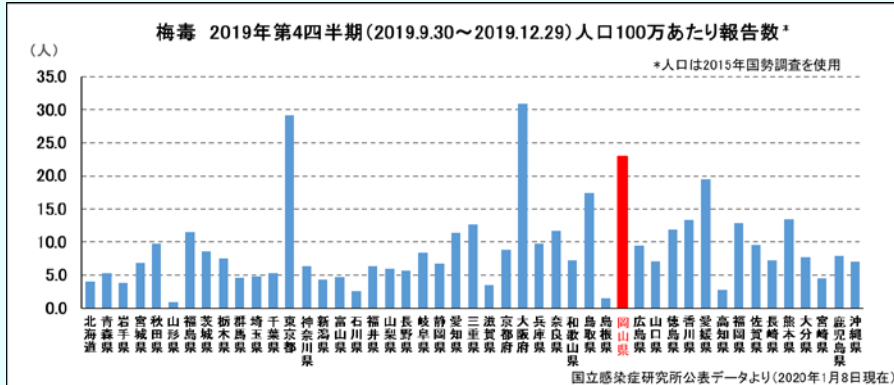
梅毒（性感染症）に

気をつけましょう！

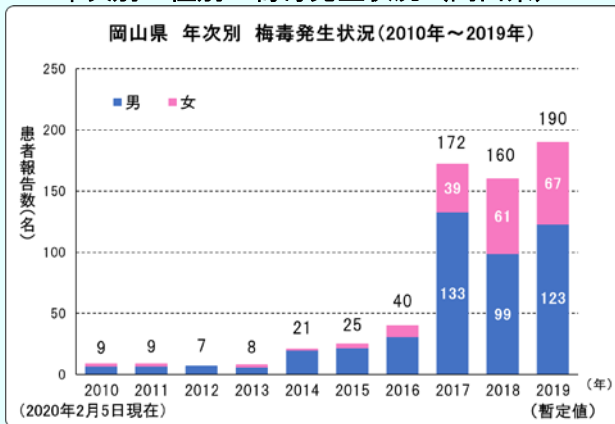
梅毒トレポネーマの電子顕微鏡写真
(国立感染症研究所 HP より)

岡山県は梅毒の患者報告数が多く、2019年第4四半期の人口100万当たりの報告数が大阪府、東京都に次ぎ全国3位となりました(なお、2018年1年間では大阪府、東京都に次ぎ全国3位)。なお、岡山県の2019年1年間の梅毒の患者報告数は190名(暫定値)となり、1999年の感染症発生動向調査開始以降で最多となっています。全国的にも、近年患者数は増加傾向を示しており、注意が必要な状況です。

☆梅毒等性感染症の症状・診断等の情報は [こちら](#) ⇒ [性感染症\(国立感染症研究所\)](#)

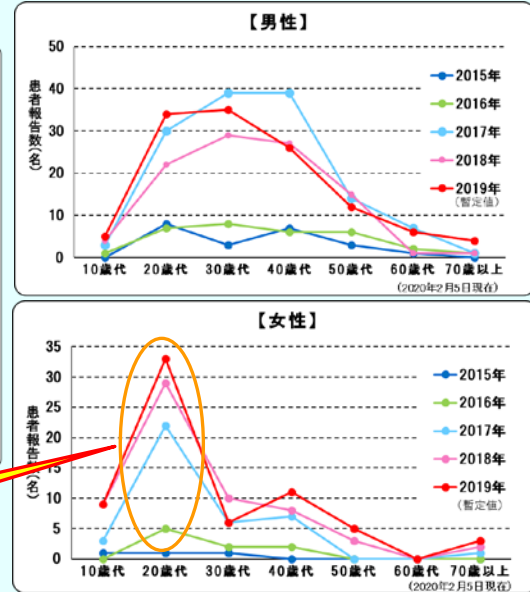


年次別 性別 梅毒発生状況(岡山県)



20歳代の女性が
年々増えています！

性別 年齢階級別 梅毒発生状況(岡山県)



岡山県の保健所・支所では梅毒等の性感染症検査を無料・匿名で受けることができます！

*岡山県の保健所(岡山市・倉敷市を除く)では、梅毒以外にも HIV・性器クラミジア・B 型肝炎・C 型肝炎の検査も同時に受けることができます。

*検査は無料・匿名で受けることができます。

*通常検査では1週間後、迅速検査では1時間後に結果をお知らせしています。

*確実な検査結果を得るためには、感染機会のあった日から、3か月経過後に検査することをおすすめします。

*事前に電話で予約が必要です(保健所によっては予約不要の日時もあります)。

○県内 11 か所の保健所・支所における性感染症等検査の日時などは [こちら](#) から
⇒ [【令和元年度 保健所における HIV 検査・性感染症検査・肝炎検査日時】](#)

インフルエンザ週報 2020年 第5週 (1月27日～2月2日)

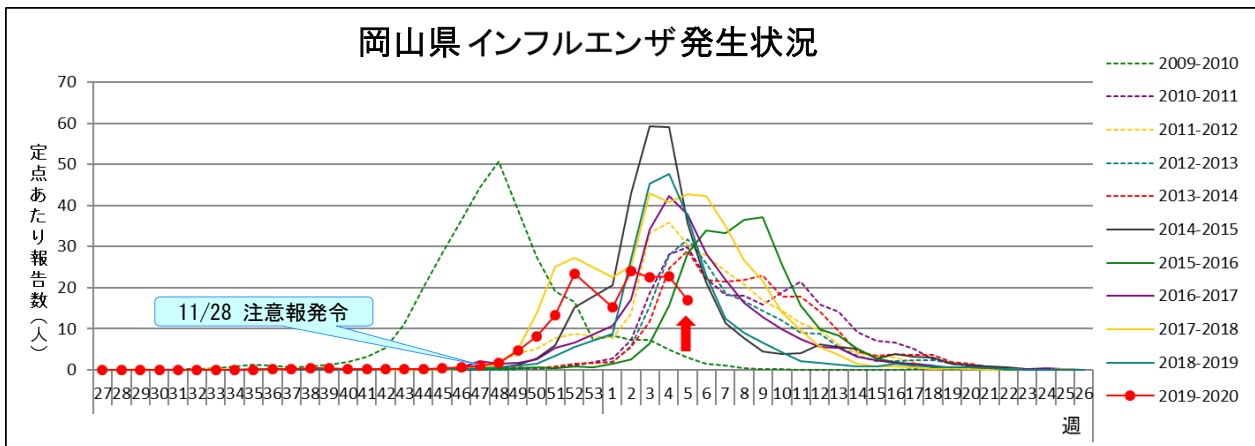
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で1,416名(定点あたり16.86人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が80施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者13名の報告がありました。

【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が41施設でありました(2月3日～6日)。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で1,416名(定点あたり22.64 → 16.86人)の報告があり、前週から減少しました。岡山県は、『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市(25.13人)、真庭地域(21.33人)、備北地域(19.33人)の順で定点あたり報告数が増えており、倉敷市および真庭地域で発生レベル3が、倉敷市および真庭地域以外の全地域で発生レベル2が継続しています。引き続き県内の発生状況に注意するとともに、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザの流行シーズンです。感染予防に努めましょう◆

【 予 防 】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな?という時には 】

- ・ 早めに医療機関を受診しましょう(受診時はマスクを着用してください)。
- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

『咳エチケット』～咳やくしゃみをするときは～

1. 周囲の人からなるべく離れましょう。
2. 他の人から顔をそらせ、ティッシュや手で口と鼻を覆いましょう。
3. 口と鼻を覆った手は、すぐに石鹸で丁寧に洗いましょう。
4. 咳やくしゃみが出ている間は、マスクを着用しましょう。

- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。



1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,416	▲	備 中	患者数	182	▶
	定点あたり	16.86			定点あたり	15.17	
岡山市	患者数	364	▲	備 北	患者数	116	▲
	定点あたり	16.55			定点あたり	19.33	
倉敷市	患者数	402	▲	真 庭	患者数	64	▲
	定点あたり	25.13			定点あたり	21.33	
備 前	患者数	170	▲	美 作	患者数	118	▲
	定点あたり	11.33			定点あたり	11.80	

【記号の説明】前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ▶：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

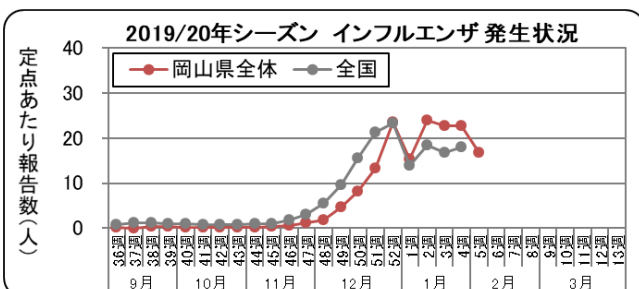
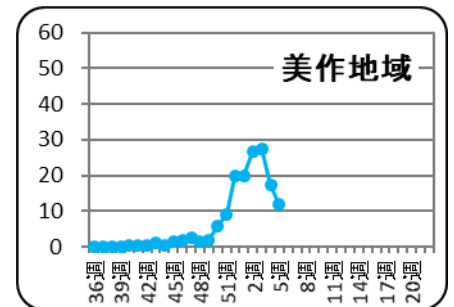
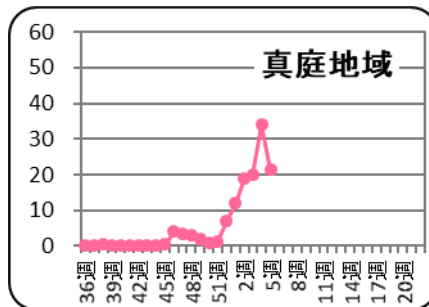
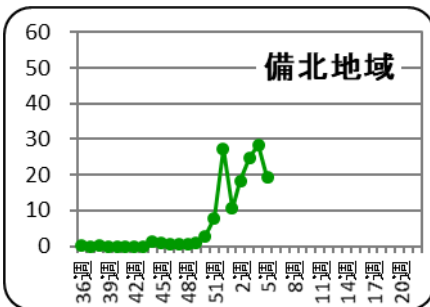
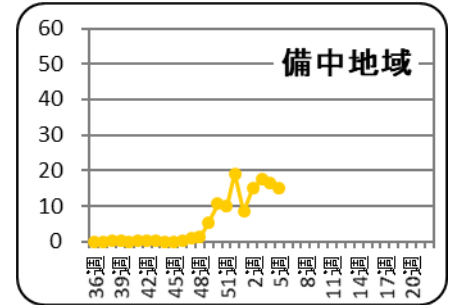
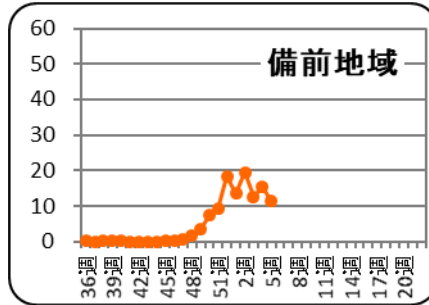
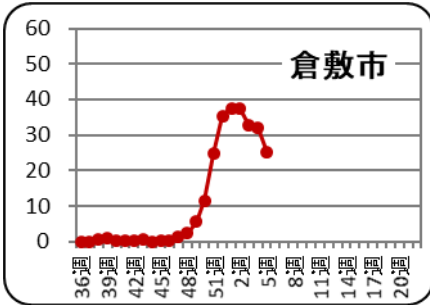
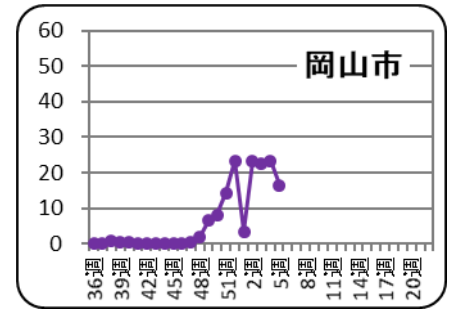
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0

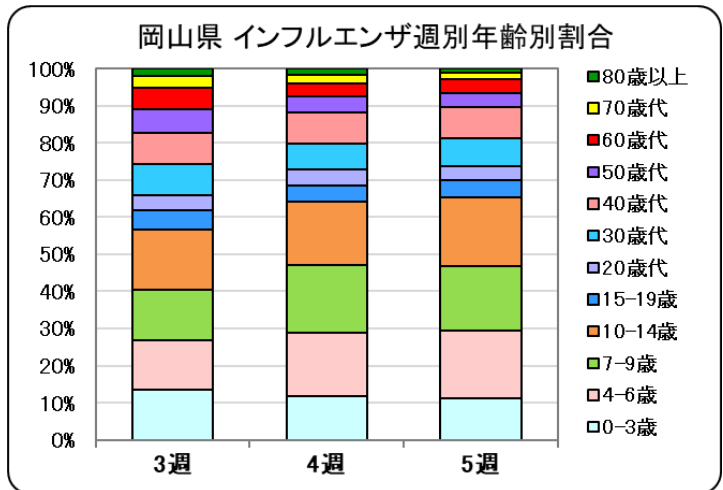
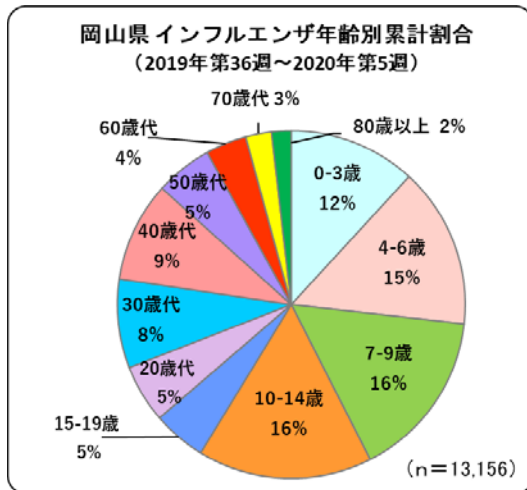


全国集計 2020 年第 4 週（1/20～1/26）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 18.00 人となりました。都道府県別では、高知県（33.83 人）、宮崎県（30.56 人）、長崎県（28.59 人）、佐賀県（27.51 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。33 都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

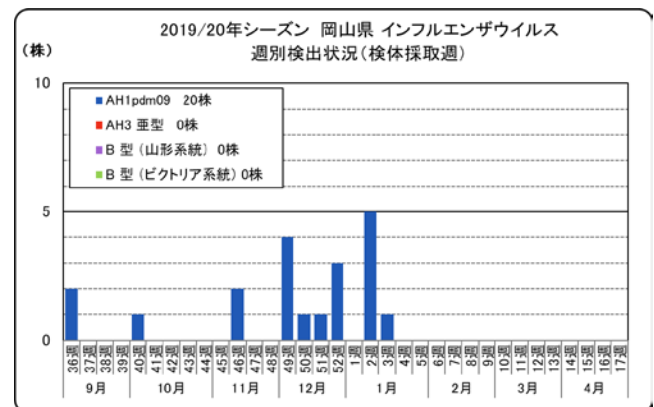
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、以下のとおりとなっています。



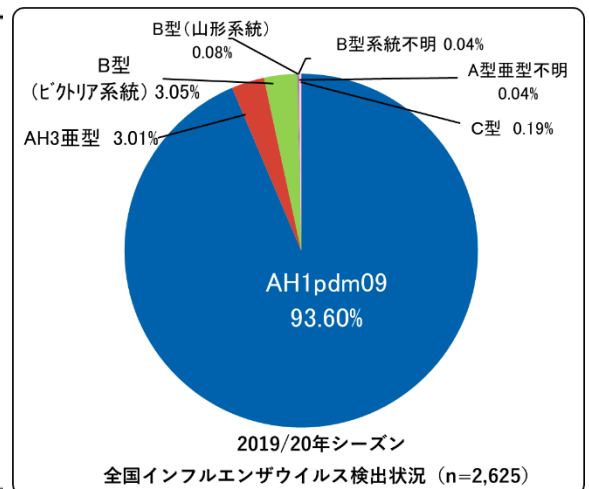
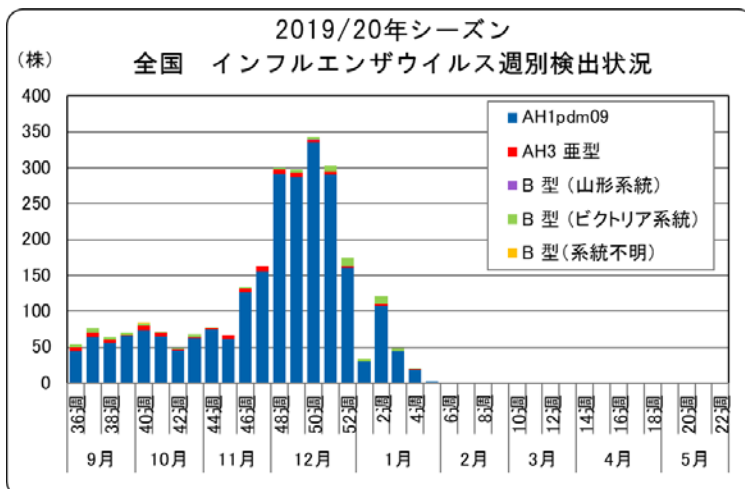
3. インフルエンザウイルス検出状況

2020年第5週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは20株で、全てAH1pdm09です。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が2,457株、AH3亜型が79株、B型が83株（ビクトリア系統80株・山形系統2株・系統不明1株）、C型5株、A型亜型不明1株となっています（2月4日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

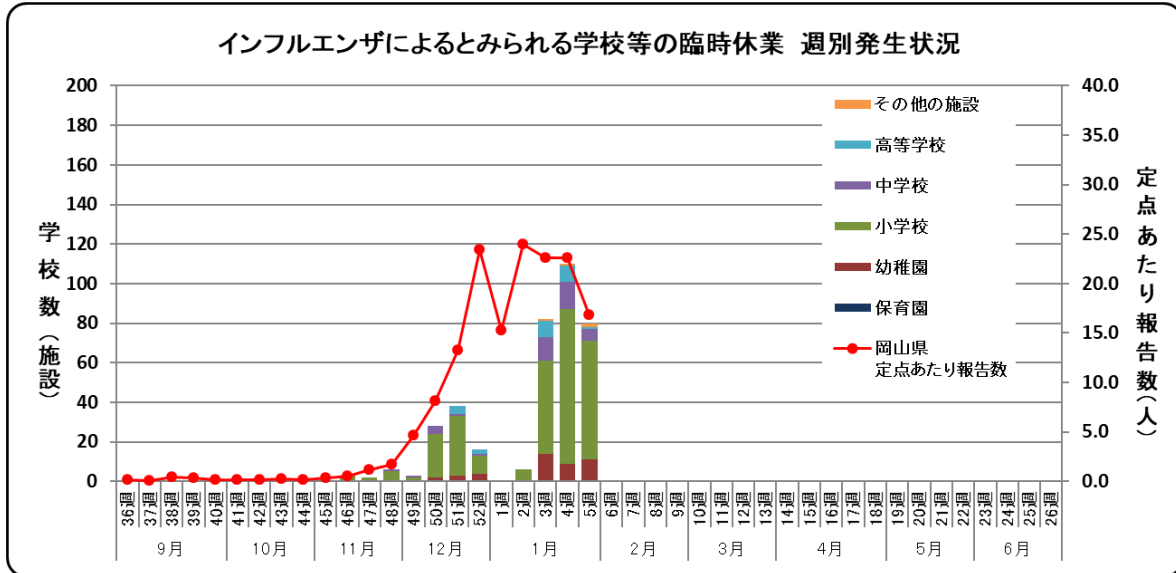


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、80施設でありました。

【第5週 臨時休業施設数】

▽岡山市	35	▽倉敷市	16	▽津山市	3	▽玉野市	1	▽笠岡市	3
▽井原市	1	▽総社市	5	▽高梁市	1	▽備前市	2	▽瀬戸内市	2
▽赤磐市	2	▽真庭市	6	▽浅口市	2	▽早島町	1		



1) 臨時休業施設数の内訳

第5週:80施設 累計:377施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	—	11	44	60	265	6	41	1	23	2	4

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

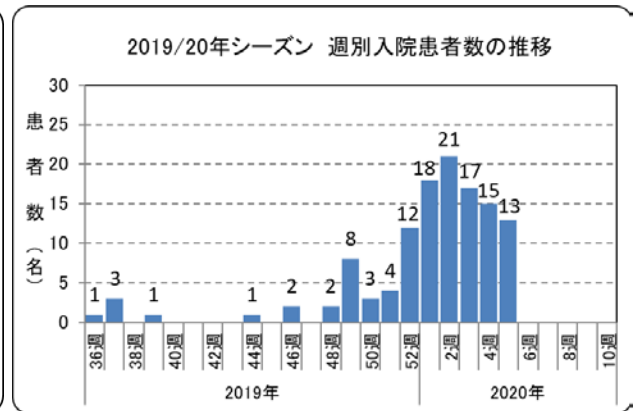
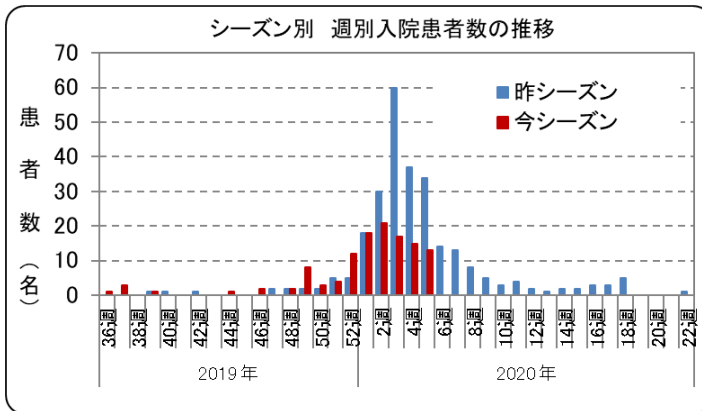
* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1,170	5,355	961	4,370	80	377	5	15	18	98	57	264	R1.9.30
岡山市	532	2,131	436	1,754	35	136	0	2	5	20	30	114	R1.9.30
倉敷市	255	1,116	218	962	16	78	0	1	2	7	14	70	R1.10.15
備前地域	103	481	92	404	7	45	1	1	3	14	3	30	R1.11.21
備中地域	143	744	115	555	12	53	1	2	3	20	8	31	R1.11.11
備北地域	6	152	6	125	1	14	1	4	0	7	0	3	R1.12.19
真庭地域	105	192	68	138	6	15	2	3	4	11	0	1	R1.11.13
美作地域	26	539	26	432	3	36	0	2	1	19	2	15	R1.10.8

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、13 名（1 歳未満 2 名、1～4 歳 2 名、5～9 歳 1 名、10～14 歳 1 名、30～39 歳 1 名、60～69 歳 1 名、70～79 歳 3 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

また、今シーズンのインフルエンザ脳症（第 5 類感染症の全数把握対象疾患である急性脳炎の届出において、病原体としてインフルエンザウイルスの記載があるもの）は、岡山県では 2019 年第 36 週から 2020 年第 5 週までで、すでに 5 名（2017/18 年シーズン：4 名、2018/19 年シーズン：3 名）報告されています。全国では 2019 年第 36 週から 2020 年第 4 週までで 206 名が報告され、過去 2 シーズンの同期間の報告数（2017/18 年シーズン：107 名、2018/19 年シーズン：147 名）を上回っています。



【第 5 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	2	2	1	1			1			1	3	2	13
ICU 入室 *	1												1
人工呼吸器の利用 *		1											1
頭部 CT 検査(予定含) *							1				1		2
頭部 MRI 検査(予定含) *			1								1		2
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1	1		1						1	2	2	8

* 重複あり

【2019 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	11	18	9	9	2	1	4	1	9	4	27	26	121
ICU 入室 *	2		1						3		4		10
人工呼吸器の利用 *	1	3	3						2		4	2	15
頭部 CT 検査(予定含) *	2	3		1	1		3		1		3	1	15
頭部 MRI 検査(予定含) *		3	2	3	1		2			1	3	1	16
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	7	9	5	6	1	1	1	1	6	3	18	22	80

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[令和元年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

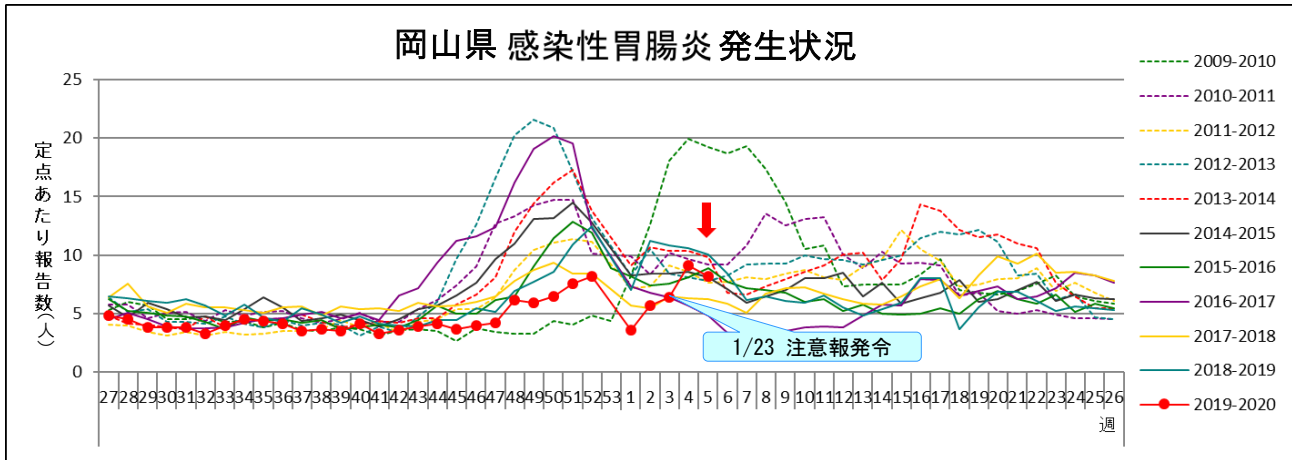
[インフルエンザ 関連情報 2019/20 シーズン インフルエンザワクチン株 \(国立感染症研究所\)](#)

感染性胃腸炎週報 2020年 第5週 (1月27日～2月2日)

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で444名(定点あたり8.22人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

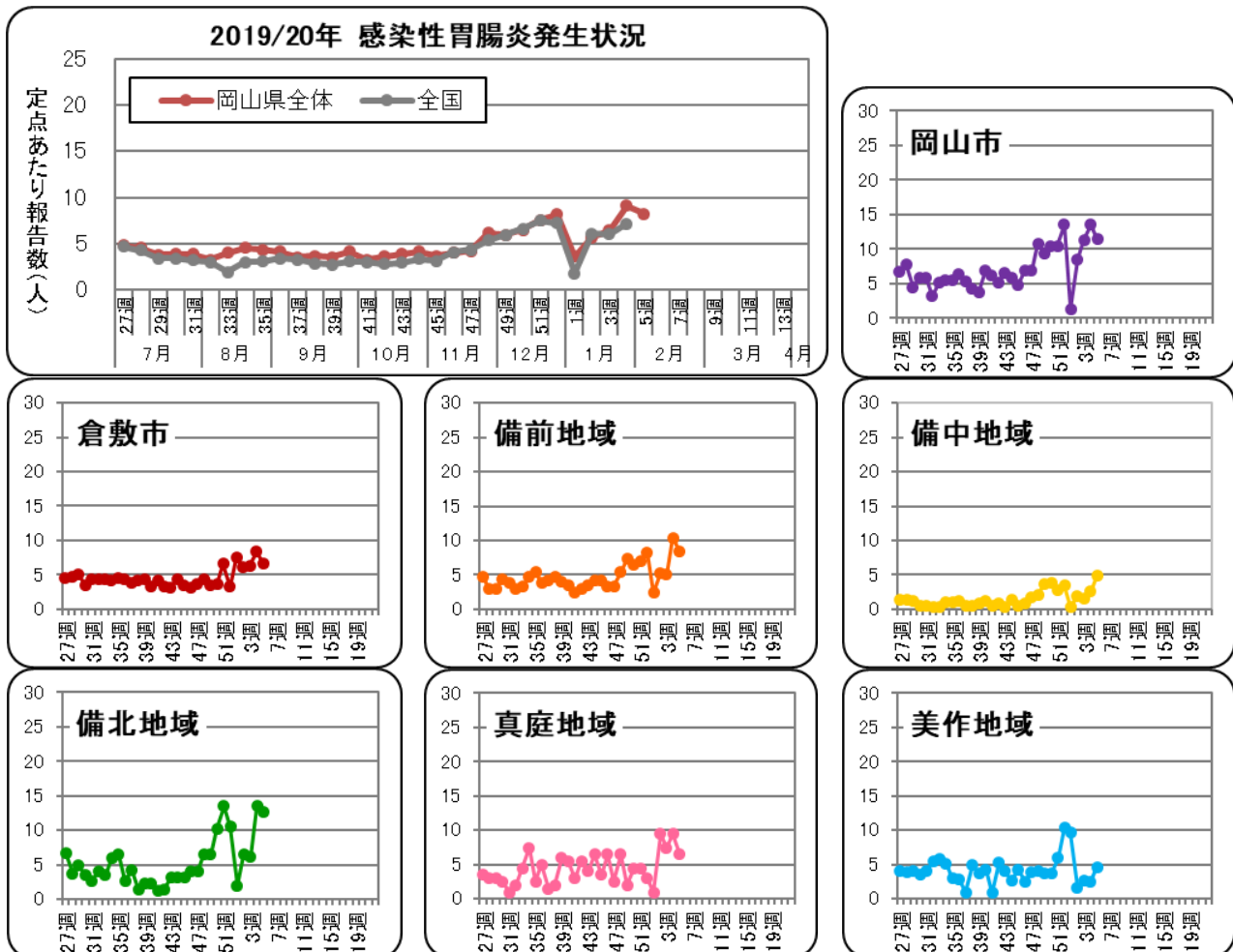


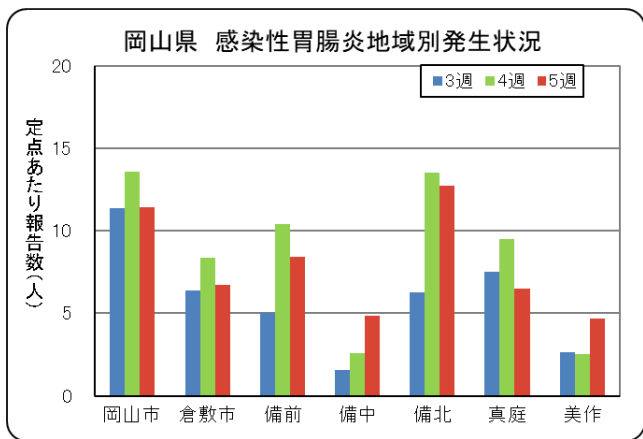
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で444名(定点あたり9.11→8.22人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

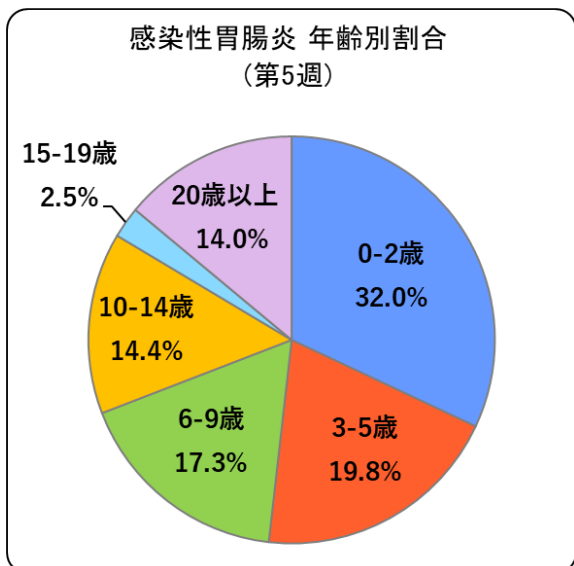
◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、備北地域（12.75人）、岡山市（11.43人）、備前地域（8.40人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。第5周年齢別割合では、0-2歳 32.0%、3-5歳 19.8%、6-9歳 17.3%の順で高くなっています（小児科定点（54 定点医療機関）からの報告による）。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、おう吐物、下痢便をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム***で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム***での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム***で消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を **85～90℃で90秒間以上**)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

*家庭用塩素系漂白剤でも代用可。なお、塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

保健所別報告患者数 2020年 5週(定点把握)

(2020/01/27~2020/02/02)

2020年2月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1416	16.86	364	16.55	402	25.13	170	11.33	182	15.17	116	19.33	64	21.33	118	11.80
RSウイルス感染症	10	0.19	6	0.43	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	29	0.54	12	0.86	6	0.55	2	0.20	6	0.86	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	28	2.00	18	1.64	4	0.40	6	0.86	1	0.25	1	0.50	3	0.50
感染性胃腸炎	444	8.22	160	11.43	74	6.73	84	8.40	34	4.86	51	12.75	13	6.50	28	4.67
水痘	10	0.19	2	0.14	1	0.09	4	0.40	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	3	0.06	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	28	0.52	14	1.00	5	0.45	7	0.70	-	-	-	-	2	1.00	-	-
突発性発疹	8	0.15	3	0.21	1	0.09	-	-	3	0.43	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	-	-	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2020年 5週(発生レベル設定疾患)

(2020/01/27～2020/02/02)

2020年2月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1416	16.86	364	16.55	402	25.13	170	11.33	182	15.17	116	19.33	64	21.33	118	11.80
咽頭結膜熱	29	0.54	12	0.86	6	0.55	2	0.20	6	0.86	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	28	2.00	18	1.64	4	0.40	6	0.86	1	0.25	1	0.50	3	0.50
感染性胃腸炎	444	8.22	160	11.43	74	6.73	84	8.40	34	4.86	51	12.75	13	6.50	28	4.67
水痘	10	0.19	2	0.14	1	0.09	4	0.40	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	3	0.06	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	28	0.52	14	1.00	5	0.45	7	0.70	-	-	-	-	2	1.00	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	-	-	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
 濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2020年 第5週 2020/01/27~2020/02/02)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	1416	7	19	37	42	53	81	86	92	89	82	76	262	64	52	107	119	53	57	24	14

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	10	2	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	29	-	2	8	6	2	4	3	2	1	-	-	1	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	-	-	1	1	5	13	10	10	7	3	4	7	-	
感染性胃腸炎	444	3	26	70	43	31	38	19	27	19	19	12	64	11	62
水痘	10	-	-	-	1	1	-	1	1	2	-	1	3	-	-
手足口病	3	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	28	-	-	2	1	4	2	5	1	5	3	2	3	-	-
突発性発疹	8	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

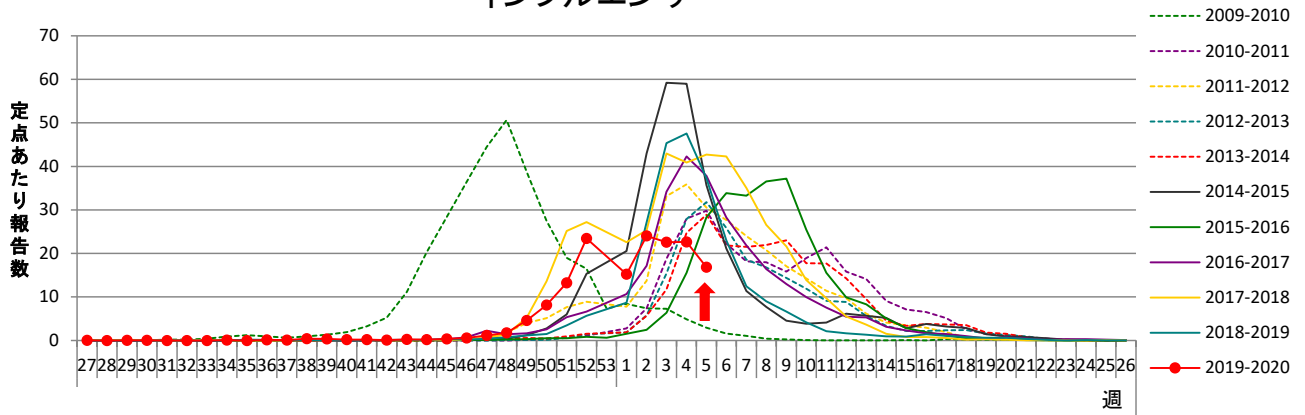
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

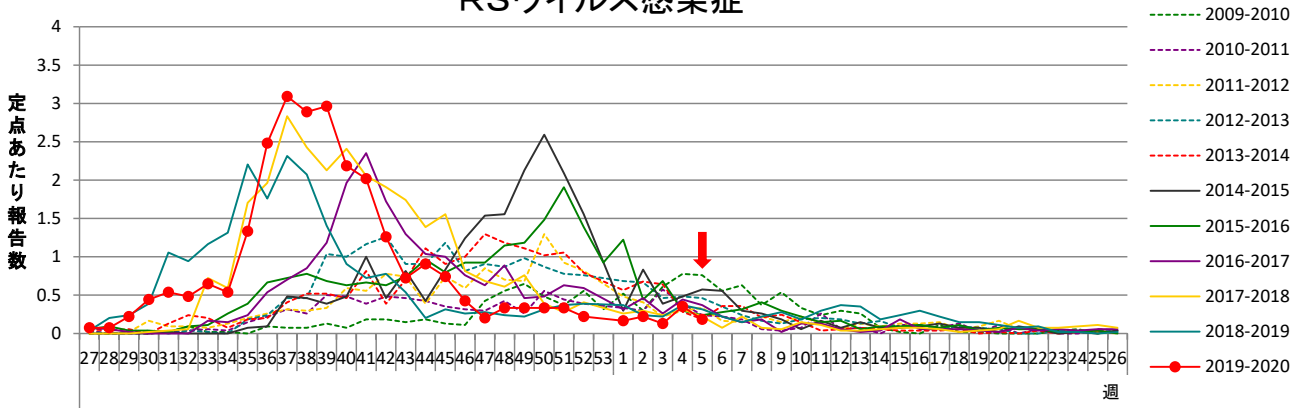
2020年 5週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	18	303	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	-	5	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	1
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	3
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	5	55
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	1	14	ウイルス性肝炎	-	-	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	3
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	2	急性脳炎	-	2	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	-	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	6	後天性免疫不全症候群	-	1	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		1	3	44	水痘(入院例に限る。)	-	1	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		-	11	190	播種性クリプトコックス症	-	1	1	破傷風	-	-	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	4	14	429
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

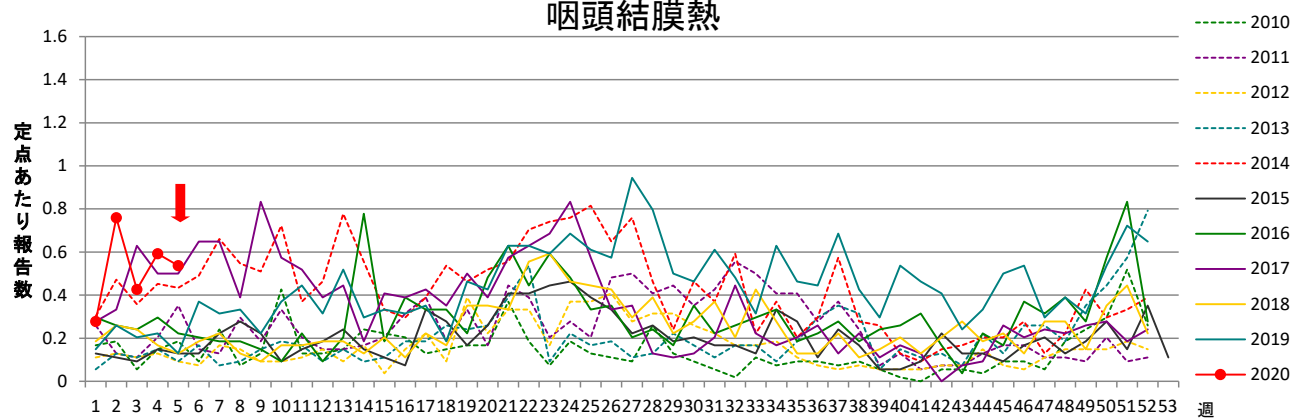
インフルエンザ



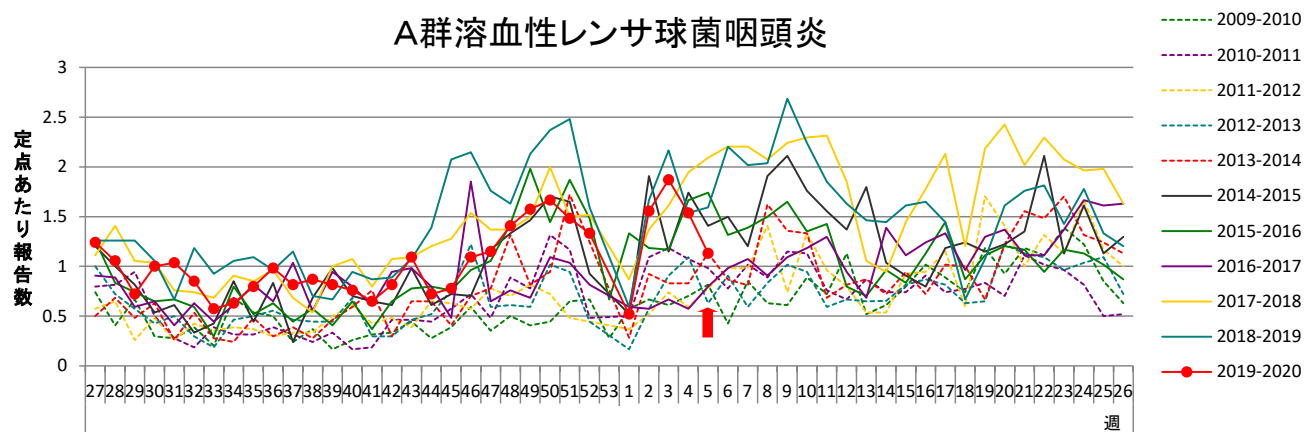
RSウイルス感染症



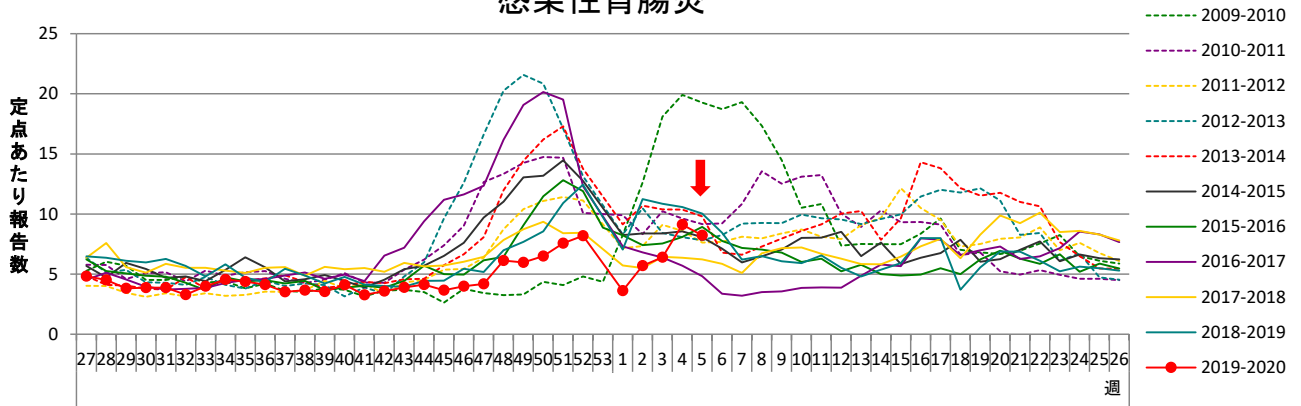
咽頭結膜熱



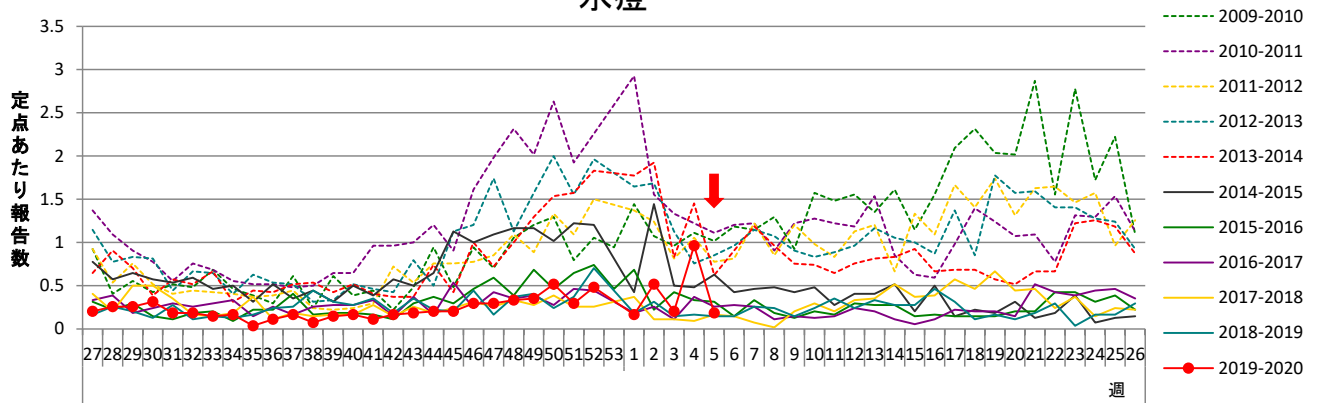
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



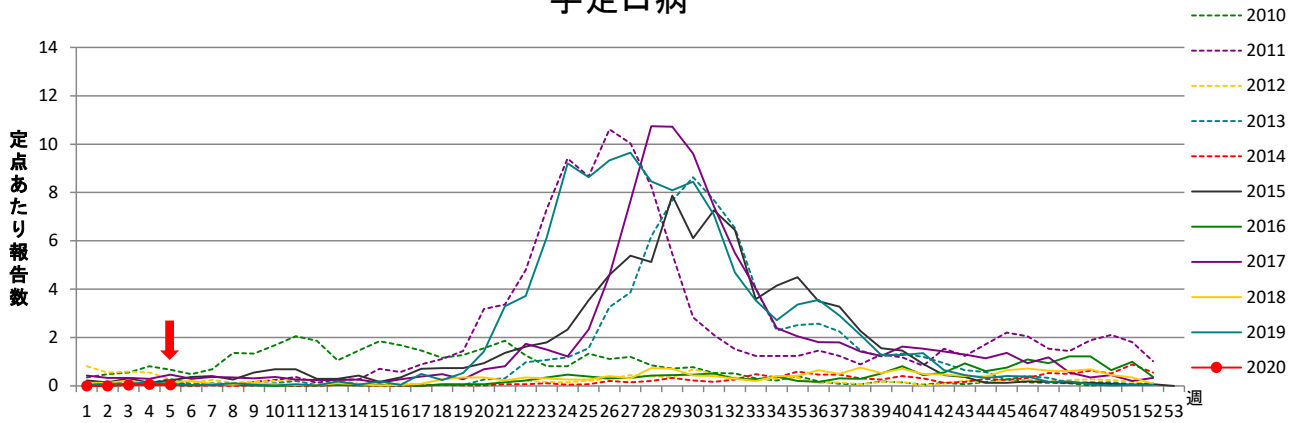
感染性胃腸炎



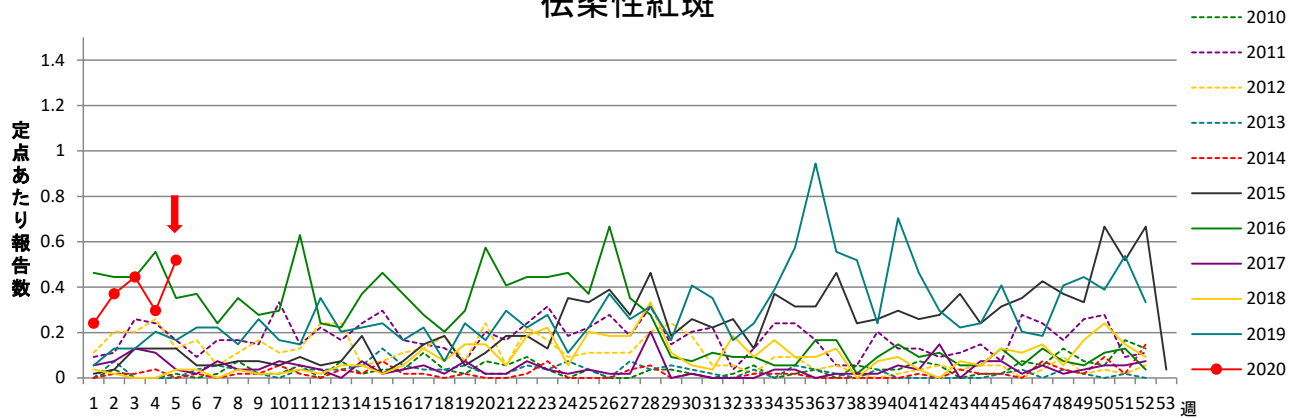
水痘



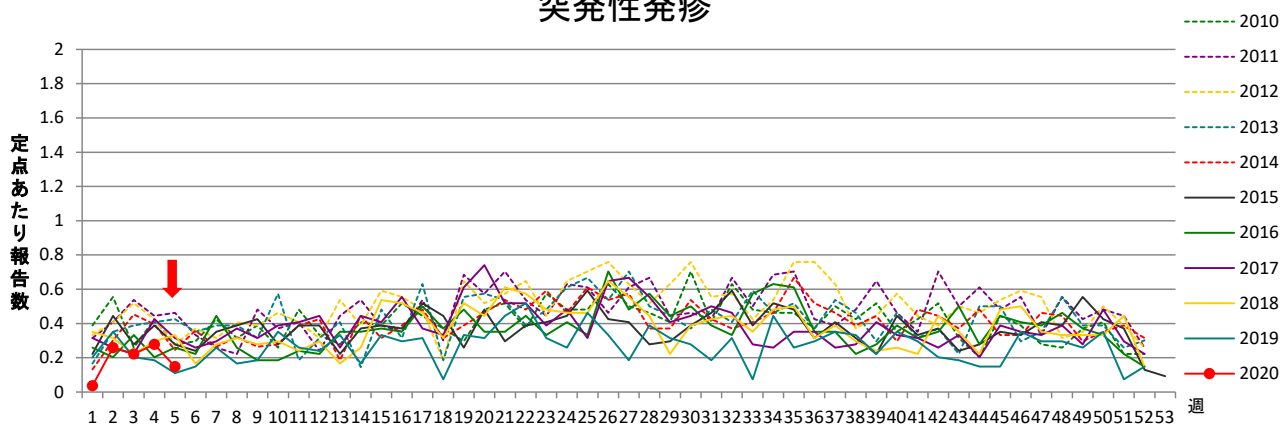
手足口病



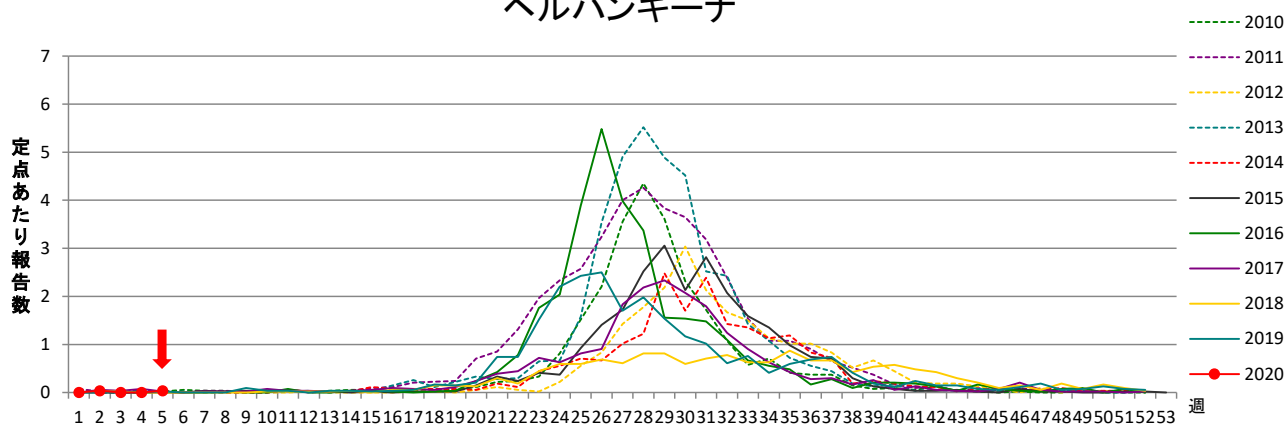
伝染性紅斑



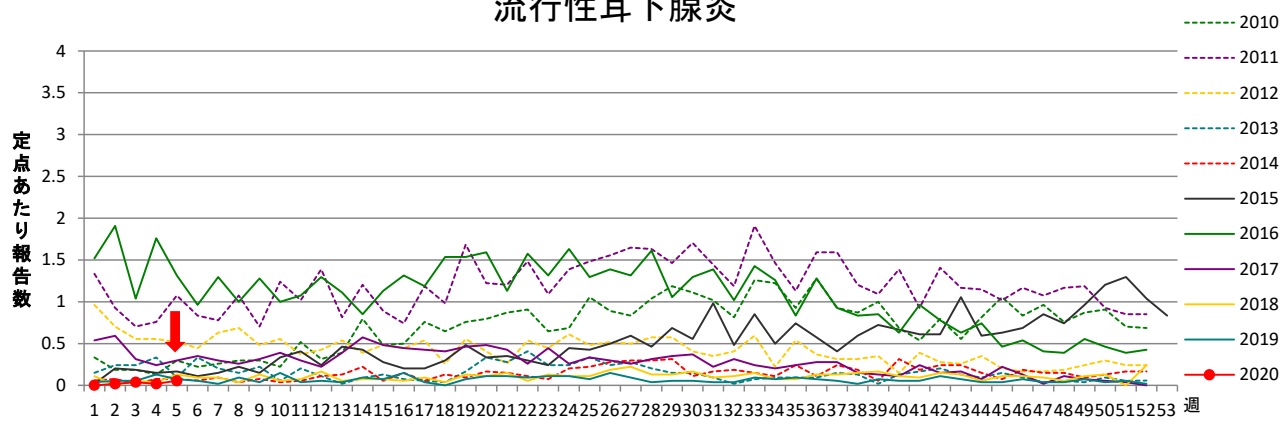
突発性発疹



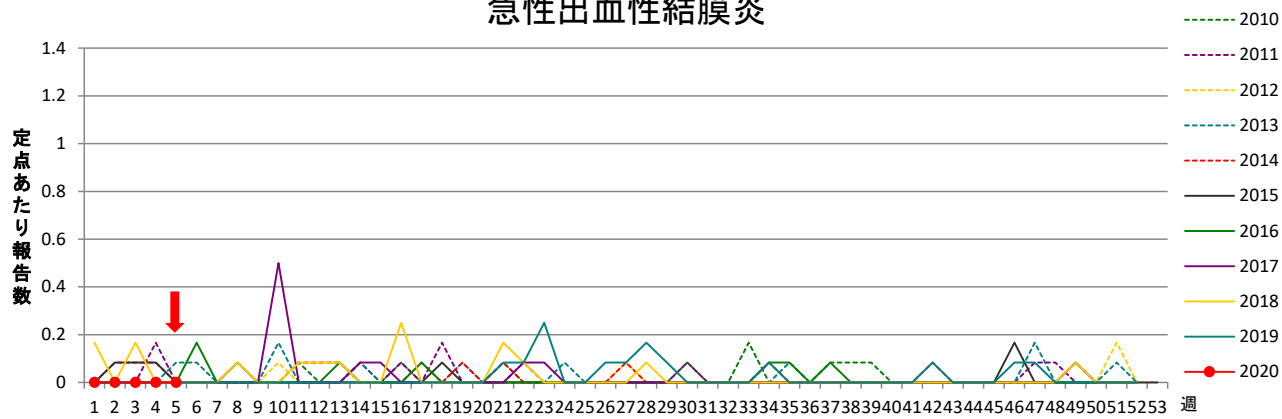
ヘルパンギーナ



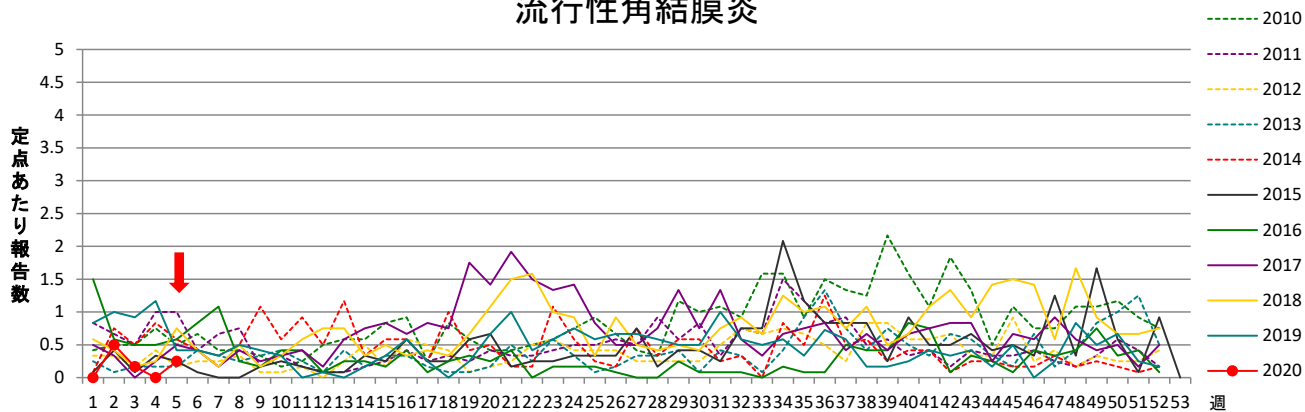
流行性耳下腺炎



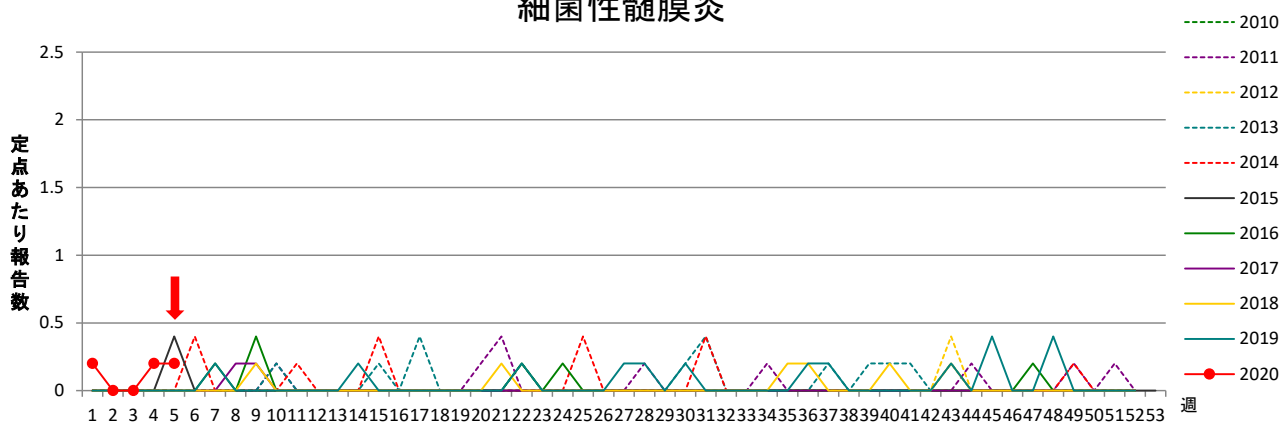
急性出血性結膜炎



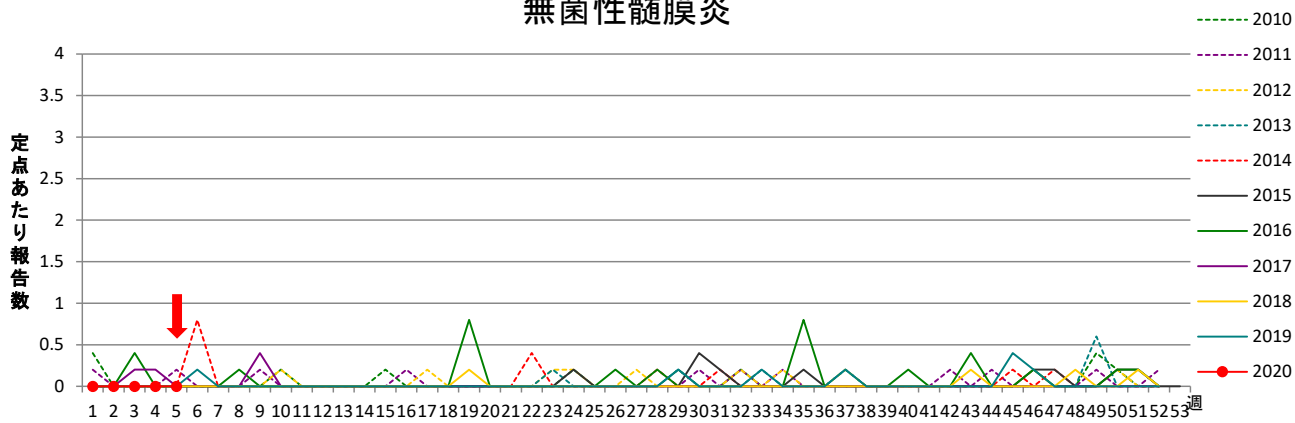
流行性角結膜炎



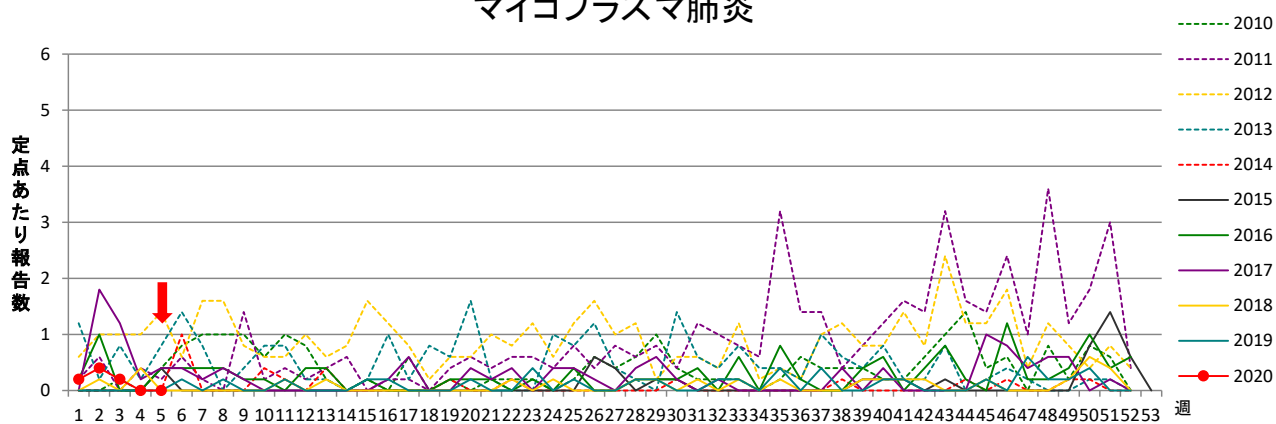
細菌性髄膜炎



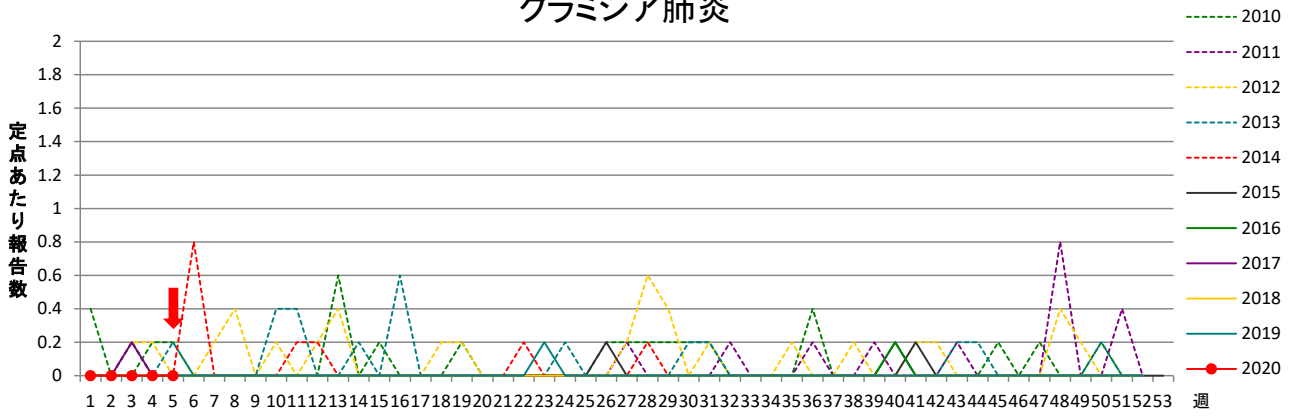
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

